

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆平和首長会議英国・アイルランド支部会議をマンチェスター市（英国）で開催
- ◆全米市長会議が年次総会において核軍縮に関する決議を採択
- ◆2016年5月の主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）に先立つ外相会合、広島市で開催決定
- ◆平和首長会議副会長都市であるマラコフ市（フランス）のカトリーヌ・マルガテ氏が市長を退任
- ◆平和首長会議情報システム稼働のご案内
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆6月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：160か国・地域 6,733自治体

~~*~*~*~*~*~*~*~*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>「いいね！」をお待ちしています。

~~*~*~*~*~*~*~*~*

=====

◆平和首長会議英国・アイルランド支部会議をマンチェスター市（英国）で開催
[6月19日、マンチェスター市（英国）]

=====

6月19日、マンチェスター市役所において、英国・アイルランド支部が創設されて初めての会議が開催されました。議長はマンチェスター市長が務め、国内の加盟都市から代表者が参加しました。会議では、支部を構成するリーダー的立場の加盟都市に対して、支部事務局が支部の副議長就任を依頼すること、今夏、任意のメンバーシップ納付金について要請すること、広島・長崎の原爆投下70周年記念行事の取組を推進することが決定されました。英国・アイルランドの多くの都市において関連行事が計画されています。

さらに、支部会議では、平和と公正に関連する問題を広く取り上げていくこと、国際平和デーや過去の紛争に関する記念行事等において平和首長会議のバナー活用を奨励することについても決定されました。さらなる活動の詳細は現在検討中です。次回の支部会議は、来年初めにグラスゴー市で開催される予定です。

=====

◆全米市長会議が年次総会において核軍縮に関する決議を採択
[6月22日 アメリカ・サンフランシスコ市]

=====

6月22日、全米市長会議は、第83回年次総会において、「核拡散防止条約が定める核軍縮義務を確実に履行すること及び核兵器に費やしている支出を自治体が直面する課題へ配分することを求める決議」を全会一致で採択しました。

全米市長会議は、人口3万人以上の米国都市が加盟する超党派の団体であり、10年連続で核廃絶と平和首長会議の取組みに賛同する決議を採択しています。決議はアイオワ州デモイン市のフランク・カウニー市長をはじめ、フロリダ、ウィスコンシン、オレゴン、ノースカロライナ、アーカンソー、アイオワ、イリノイ、メインの各州から13都市の市長が共同提案者となり提出されました。

▼決議文和訳

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2015/USCM/83rd_resolution.html

▼決議の全文（英語）

http://usmayors.org/resolutions/83rd_Conference/displayresolution.asp?resid=83aReso202

=====

◆2016年5月の主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）に先立つ外相会合、広島市で開催決定

=====

6月26日、政府は、来年5月26日・27日に三重県で開催される主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）に先立つ外相会合を広島市で開催することを決定しました。この発表を受け、広島市長は「非常に嬉しく光栄だ」とコメントした上で、「主要国の外務大臣らが平和記念資料館を視察したり、被爆者の話を直接聞いたりする機会を設けたい」と述べています。

平和首長会議としても、この機会を生かし、世界中に核兵器廃絶に向けた強いメッセージを発することができればと考えています。

=====

◆平和首長会議副会長都市であるマラコフ市（フランス）のカトリーヌ・マルガテ氏が市長を退任

=====

フランス・マラコフ市の市長を19年間にわたって務め、平和首長会議の副会長でもあったカトリーヌ・マルガテ氏が6月16日、健康上の理由で市長を退任されました。マラコフ市は、1985年に平和首長会議に加盟し、1997年には副会長都市に就任。2013年にはリーダー都市になりました。この間、マラコフ市では、1997年に平和首長会議を担当する特別部署である「AFCD RP フランス平和自治体協会」が設立され、市役所の中に専任スタッフのいる事務所が設けられました。平和首長会議は、フランスにおける核兵器廃絶に向けた取組をリードして来られたマルガテ氏の長年にわたる貢献に対し感謝の意を表すとともに、後任のジャクリン・ベロム市長に対し、リーダー都市の市長として引き続き平和首長会議の活動に御支援・御協力いただくよう期待しています。

=====

◆平和首長会議情報システム稼働のご案内

=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を構築しました。このシステムを利用することで、加盟自治体の情報検索、貴自治体の情報更新等が可能となります。貴自治体の情報は常に最新のものに更新していただき、平和首長会議の活動に本システムを利活用してください。

なお、システムの利用方法等については別途メールでお知らせしています。

平和首長会議情報システムに関するご不明点等は、次のアドレスにお問い合わせください。

▼Eメール：mfpsystem@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第9回)

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

全国にいる被爆者の平均年齢は、3月末で80.13歳となり、初めて80歳を超えました。前年同時期の79.44歳から0.69歳上昇。年々、老いが深まり、被爆者団体の活動にも影響が出ています。広島県内では被爆70年の節目にもかかわらず、福山市や甲田町(安芸高田市)に続き、西城町(庄原市)の被爆者団体が解散します。核兵器も戦争もない世界を訴え続けてきた被爆者の願いをどう引き継ぐか、広島全体の重い課題になっています。そんな中、来年、日本で開かれる主要国首脳会議(サミット)に先立つ外相会合の広島市開催が決まりました。原爆を落とした米国の国務長官や、核兵器保有国の英国、フランスの外相が初めて広島を訪れます。核軍縮を進めるきっかけにしてほしい、と被爆者や市民の間に期待が広がっています。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○被爆者 平均80歳超す 3月末 手帳所持者9200人減

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=46532>

○西城被爆者の会解散へ 庄原 高齢化 会員減少 7月16日総会

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=46251>

○広島で外相会合開催が決定 来年サミット前 米英仏の現職が初訪問

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=46288>

○核軍縮決断へ好機 広島で外相会合 被爆者 期待高まる

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=46296>

(ヒロシマ平和メディアセンター提供)

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

姫路市(兵庫県)

「非核平和展」を開催中

姫路市では、7月11日(土)～8月31日(日)まで姫路市平和資料館において「非核平和展」を開催しています。7月末まで、平和首長会議原爆ポスター展もあわせて開催しています。

▼展示概要(姫路市ウェブサイト):

http://www.city.himeji.lg.jp/s50/heiwasiryo/_8293/_8295.html

睦沢町(千葉県)

企画展「終結70年 房総半島の第二次世界大戦」を開催中

睦沢町では、6月6日(土)～9月6日(日)まで睦沢町立歴史民俗資料館において企画展「終結70年 房総半島の第二次世界大戦」を開催しています。

▼企画展チラシ(PDF):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/2015/Mutsuzawa/70th_WWII_Boso_Flyer.pdf

ゲルニカ・ルモ市（スペイン）

「ゲルニカからヒロシマへの折り紙」プロジェクト

6月12日、「ゲルニカからヒロシマへの折り紙」プロジェクトの一環として、大規模な平和イベントが、兵器工場から文化施設に生まれ変わった「アストラ」で開催され、ゲルニカと広く呼称されるゲルニカ・ルモ市内外の12歳の生徒約200人が参加しました。

▼記事全文（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/2015/Gernika-Lumo/origami.html>

▼「ゲルニカからヒロシマへの折り紙」プロジェクトについての動画：

www.origamiak.org

ハンブルグ市（ドイツ）

広島・長崎の被爆者とハンブルグ空襲の体験者が対談

6月3日、広島・長崎の被爆者3名とハンブルグ空襲の体験者3名がハンブルグ市主催の行事に参加しました。この行事の会場となった聖ニコライ教会跡は、1933年から45年のナチス・ドイツ時代とその間の戦争に深く関係している場所であり、「ゴモラ作戦」と名付けられた英国軍による空爆の標的となった建物です。

13歳から16歳までの生徒たち約60人が参加し、被爆者・空襲体験者とディスカッションを行いました。また、ハンブルグ市長、NGO「世界未来会議」代表者によるスピーチも行われました。

広島・長崎の被爆者一行は、ピースボートと平和首長会議の共同プロジェクト「過去と今の対話」の一環でハンブルグを訪問しました。一行はその後、宿泊先のゲストハウスでの夕食会に参加し、ハンブルグ空襲体験者たちとさらに議論を深めました。

▼ハンブルグ市ホームページ掲載記事（ドイツ語）：

<http://www.hamburg.de/pressearchiv-fhh/4505964/2015-06-03-pr-ueberlebende-hiroshima/>

▼ドイツのニュースメディア「Deutsche Welle」掲載記事（英語）：

<http://www.dw.com/en/in-hamburg-hiroshima-survivors-share-tragedies-of-war/a-18497055?maca=en-aa-pol-863-rdf>

イトゥサイngo市（アルゼンチン）

イトゥサイngo市の幼稚園で平和の折り鶴教室を開催

6月16日、平和と環境に関する啓発活動を行っているNGO「フンダシオンサダコ」代表で、広島市が創設した「ひろしま平和大使」の相川知子氏による折鶴教室が行われました。

▼記事全文（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/2015/Ituzaingo/orizuru.html>

マンチェスター市（英国）

「ピース・トレイル（平和の小道）」関連イベントの実施

6月12日・13日及び6月26日・27日、マンチェスター市における新たな「ピース・トレイル（平和の小道）」の認定を記念し、講演会や、ピース・トレイルを実際に歩いて巡るイベントが行われました。

▼記事全文（平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/2015/Manchester/peace_trail.html

モンテニルパ市（フィリピン）

ショッピングモールで「ヒロシマ・ナガサキ原爆ポスター展」を開催

6月18日・19日、モンテニルパ市内のショッピングモールにおいて、広島・長崎の原爆投下についてのポスター展が開催されました。このポスター展は、2020年の核廃絶を目標に活動している平和首長会議の取組についてより多くの市民に知ってもらうため、プレスネデイ同市長の主導により開催されました。多くの来場者がポスター展を訪れており、現在、同市の全ての高校でこの展示会を開催することが検討されています。

▼展示会の写真（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/2015/Muntinlupa/exhibition.html>

ウェリントン市（ニュージーランド）

「ウェリントン・ピース・ファイ」発足行事の開催

5月27日、「ウェリントン・ピース・ファイ」発足を記念する行事がウェリントン市のセリア・ウェイド＝ブラウン市長の主催で行われました。「ファイ」は「集会」を意味するマオリ語です。ワークショップでは、「核兵器のない世界を目指して」というテーマでウェイド＝ブラウン市長ほか同市の平和団体代表等によるプレゼンテーションが行われました。

▼関連情報

創価学会インターナショナルニュージーランド支部ウェブサイト（英語）：

<http://www.sginz.org/home/wellington-mayor-s-peace-network/>

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/index.html>

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール：mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内

=====

平和首長会議では、平成25年8月の第8回平和市長会議総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を昨年度から開始しました。

6月1日から30日までに、国内では、酒田市（山形県）及び藍住町（徳島県）にアオギリの苗を、新座市（埼玉県）にアオギリとクスノキの苗を、国外ではアバディーン市（英国）にイチヨウの種を配付しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※被爆樹木の苗木の配付については、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合は翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※両事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Eメール：mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX：082-242-7452

=====

◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！

=====

平和首長会議では、第8回平和市長会議総会において策定された行動計画に沿った取組として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、ロンドン市（イギリス）、ボルゴグラード市（ロシア）、カブール市（アフガニスタン）など、290を超える都市がポスター展を開催しており、6月には上述のモンテンプルパ市（フィリピン）の他、岐阜県各務原市で原爆ポスター展が開催されました。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズA2版、18枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

=====

2020年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、2011年11月の理事会及び2012年1月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は第8回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2015年7月1日現在、2,077,183筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

（署名はインターネットからも可能です。）

▼署名用紙（PDF）

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====

◆6月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、6月に次のような海外からの来訪者の表敬訪問を受けました。

その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

*6月25日(木) カルロス・アルマーダ 駐日メキシコ合衆国特命全権大使

▼関連情報

広島市/日々の動静—2015年6月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1433145241345/index.html>

◆平和首長会議加盟都市数: 160か国・地域 6,733自治体

皆様のご理解とご協力により、今月29自治体が新たに加盟し、平和首長会議の加盟都市数は7月1日現在で6,733自治体(160か国・地域)となりました。

日本国内では、東京都渋谷区等3自治体が加盟し、国内加盟都市数は1,564自治体(加盟率89.8%)となりました。

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの20自治体が新たに加盟し、同国の加盟都市数が692自治体となりました。この他、ネパール、ドイツ、イタリア、ノルウェーから計6都市が新たに加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしくお願いします。

▼7月1日付新規加盟都市一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2015/newmembers1507_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp